

# 学 校 だ よ り

— 伸びよ 力のかぎり —

川西市立清和台南小学校

2 月 号

平成 2 7 年 2 月 2 日

校長 岸本 浩司



## 心を込める

夜、テレビで衣服の破れや虫食いなどの傷みを直す「かけつぎ職人」さんの仕事ぶりが紹介されていました。同じ服の隠れた部分から糸や布を取り出して、傷んだ部分を一本ずつ縫い合わせたり、布を当てて端の部分の糸を元の服に編みこんだりして、まるで傷みがなかったかのように修繕していきます。今まで修理ができないとされていた革の服を試行錯誤

の末、特殊な縫い方を見つけて直したり、擦り減って破れた毛糸のセーターを、服になじむ毛糸を見つけて丁寧に直していったりする様子が紹介されていました。そこには、着る人が服を大切にしている気持ちにこたえようと、難しいことにも挑戦して、心を込めて修繕していく仕事ぶりがよく伝わってきました。いまどきそんな「かけつぎ」でやっていけるのと仕事をばかにされることもあったようですが、丁寧に心を込めて仕事をしているうちに、全国から注文が殺到するようになったということです。心を込めると、それは相手にも伝わるものだと思います。毛糸のセーターを直してもらった女性は、半身が麻痺し、母に買ってもらった赤いセーターを心の支えにしてリハビリに取り組んでおり、直されたセーターを見て涙を流して喜んでいました。

これから、学年のまとめをしたり、これまでの生活を振り返ったりして、自分の思いを伝えていく場面も多くなります。心を込めて書かれたものは、温かさや優しさが自然に伝わってきます。一つ一つのことを、心を込めて取り組むと自分の心の中に自信や支えとなって残っていくように思います。また、周りの人に気持ちを伝える場合でも、心を込めて伝えようとすると、感謝の気持ちや、喜びの気持ちが湧きあがってくるように思います。

心を込めて、物事に取り組み、温かさや優しさが伝わる場面が一つでも多くあればと思います。

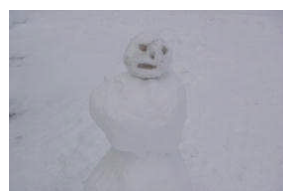
## 【2月の行事予定】

|                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 2 日(月) 異学年交流(昼休み、1・3 年) | 1 6 日(月) 参観・懇談(4・5 年) |
| 3 日(火) クラブ              | 3 年認知症学習会             |
| 異学年交流(昼休み、2・4 年)        | 1 7 日(火) クラブ(3 年生見学)  |
| 5 日(木) 異学年交流(昼休み、5・6 年) | 2 0 日(金) 朝会           |
| 6 日(金) 朝会               | 2 4 日(火) 委員会          |
| 1 1 日(水) 建国記念の日         | 2 5 日(水) 集団下校         |
| 1 2 日(木) 参観・懇談(1・2・3 年) | 2 6 日(木) 6 年お別れ会      |

## 冬を満喫！ 自然学校

1月9日(金)から13日(火)まで、5年生がハチ高原に自然学校へ行ってきました。行きの途中の道には雪がなく、本当に雪が積もっているんだろかという感じでしたが、スキー場が近づくと一気に雪が多くなり、到着すると1メートル以上積もっていて、さすがに寒いと思いました。さっそく雪遊びをして雪だるまを作ったり、雪投げをしたりして大はしゃぎでした。よく動いておなかが減るのか、食事のときに何杯もおかわりをする姿が見られました。

2日目からスキー体験が始まりました。スキー靴に足がなかなか入らなかったり、スキーがなかなかはけなかったりして苦労していて、これから大丈夫なのかなと不安そうな子どもたくさんいました。しかし、スキーのコーチの話をしっかり聞いて一生懸命練習していくうちにみるみる上手になってきました。方向を変えたり、スピードを緩めたり、ストップしたりする方法をクリアしていました。次の日には、林間コースを滑って降りたり、急斜面を滑り降りたりとどんどん楽しくなっていくようでした。寒くて、動きにくくて、雪の中の生活は大変なことも多いですが、それを楽しみに変えてしまうくらい元気に、みんなで力を合わせて活動することができました。そして、がまんぶよくものごとに取り組む経験もできたと思います。楽しい思い出がいっぱいできた自然学校でした。30日には報告会で、全校生に自然学校の様子をしっかりと伝えました。



## 地震避難訓練

1月21日(水)に、地震避難訓練をしました。地震発生の放送で、机の下にがまん強くもぐりました。その後、揺れが収まったという放送で、運動場へ避難しました。おさない・かけない・しゃべらない・もどらないを守って、真剣に避難しました。阪神淡路大震災から20年経ちました。地震への備えを忘れてしまいがちになります。普段から、逃げる場所を話し合っておいたり、家具を倒れにくくしたりするなどして、地震に対する備えをしておかなければと改めて思います。



## 手洗い・うがいをこまめに行いましょう。

インフルエンザによる欠席が増えてきています。インフルエンザのウイルスが体の中に入らないように、手洗いやうがいをこまめに行いましょう。特に外から帰ってきたときには、石鹸を使い、指の間や手首の方まで念入りに洗うのがいいです。また、せきが出るなどのは、マスクをして人にうつさないなどのエチケットを心がけましょう。とにかく、調子が悪くなったら、早めにお医者さんを受診しましょう。

